

大会申し合わせ事項

1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則2021-2024 v.2」ならびに大会申し合わせ事項により実施する。

2. 用具検査について

競技用具、ボール等の規定は、「日本ボッチャ協会競技規則2021-2024 v.2」に準ずる。なお、大会球の使用については、招集にて審判が確認を行うので、その時申告すること。

※用具検査は特に実施しません。

3. 招集について

(1)コールルームは競技開始30分前に開場し、15分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。

※コールルーム入り口に公式時計を1個、設置しますので、各自ご確認ください。

(2)コールルームには、選手本人およびアクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタントおよびランプオペレーター以外は入ることができない。コーチが入室を希望する場合は、必ずコールルーム受付時に同行し、入室証をもらうこと。

○選手以外にコールルームに入ることができる者

BC1 コーチ（またはコーチアシスタント）1名、スポーツアシスタント1名

BC2 コーチ（またはコーチアシスタント）1名

BC3 コーチ（またはコーチアシスタント）1名、ランプオペレーター1名

BC4 コーチ（またはコーチアシスタント）1名

※足蹴り選手のみ+スポーツアシスタント1名

OP座位 コーチ1名

※コーチのコールルーム内への入場は、コールルーム受付にて入場許可証の申請をしてください。

○コールルームに持ち込める物

i) 赤ボール6個、青ボール6個、ジャックボール1個

ii) アシスティブデバイス（補助具）：BC3の選手のみ

iii) 競技に必要な物品

※ボールやランプをコールルームに持ち込まなかった選手は、大会運営側で用意した道具を使用してください。

4. ナンバーカードおよびアクレカード（名札）について

(1)ナンバーカードは、選手または車いすの前面に取り付け、ランプオペレーターは背面に、スポーツアシスタントは胸に取り付けること。

(2)ナンバーカードおよびアクレカードは、コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。なお、ナンバーカードおよびアクレカードがない選手はコールルーム受付ができないので注意すること。

5. 競技進行について

競技時間は原則公表した競技進行によって運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。遅延の連絡は1階事務所横のホワイトボードに貼り出す。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

※選手によっては試合と試合の間隔が大幅に空く場合や連続する場合もあるので、ホワイトボードをよく確認してください。

6. 競技方法

(1)すべて男女混成の個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則2021-2024 v.2」が提示するクラスBC1、BC2、BC3、BC4、OP座位の5クラスにて実施する。

(2)各クラスとも予選リーグを行い、上位4名による決勝トーナメントを実施する（申込状況による）。

予選リーグの順位はB I S F e d 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。

(3)スポーツアシスタントはBC1、およびBC4の足蹴り選手にのみ認めるものとする。それ以外の選手については、コールルームおよび競技中にスポーツアシスタントを使用することはできない。

ランプオペレーターは選手と同等とみなされ、BC3クラスの選手をアシストする。

(4)スポーツアシスタントやランプオペレーターの手配は事前に行い、アクレカードの申請のないスポーツアシスタントを使用することは認められない。なお、やむを得ない事情でスポーツアシスタントを登録者以外のものを使用する場合は、大会受付を通じて大会実行委員長に申請すること。

(5)残り時間のコールおよびエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

7. 表彰について

(1)各クラス上位3名までにメダルを授与する。

(2)BC3クラスのランプオペレーターについてもメダルを授与する。

8. クラス分けについて

(1)日本選手権大会のクラス分けを受けていない選手はすべてOP座位での参加とする。

(2)競技中、クラス分け委員による競技観察を行う。

(3)明らかにクラスの違う選手は、審判長とクラス分け委員が協議のうえオープン出場とする。

※他の選手のクラス確認に対する抗議は認めません。